

CONTENTS

1

特集

語り合いを通して深める 幼児理解

16

データから見る幼児教育 幼児期の家庭教育 国際調査

目白大学 人間学部 子ども学科 准教授
荒牧美佐子先生

本誌をお手に取っていただき、ありがとうございます。

特集では、2園のご協力のもと、園内研修の様子や先生の体験談などをご紹介します。「幼児理解を深める」ために、立場を超えて「語り合う」場をつくる大切さと難しさを改めて実感する取材となりました。

話しやすい雰囲気をつくる・肯定的に意見を受け止めるなど、保育者の先生方が互いを高め合うために心がけることは、園の運営に限ったことではなく、組織で仕事をする上での普遍的なポイントだと感じました。

今号から、よりお役立ていただけるよう、誌面レイアウトをリニューアルしております。引き続き、ご活用いただけましたら幸いです。

最後に、ベネッセ教育総合研究所顧問の磯部頼子先生が6月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

『これからの幼児教育』編集部

「これからの幼児教育」2018年秋号

編集発行人/岡田晴奈 発行所/(株)ベネッセコーポレーション
印刷製本/凸版印刷(株)
編集協力/(有)ペンダコ、丹羽三千代 執筆協力/二宮良太
撮影協力/ヤマグチイッキ、松原誠 イラスト協力/アサナマリカ

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。ここでご紹介した内容、デザインなどは変更になる場合があります。

※本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。

©Benesse Corporation 2018



インタビュー

P.2

幼児理解を深めて子どもの学びの 過程や質を捉え、語れる保育を

名古屋学芸大学
ヒューマンケア学部
教授
津金美智子先生



語り合いを通して深める 幼児理解



新しい幼稚園教育要領、保育所保育指針、
幼保連携型認定こども園教育・保育要領が施行された今、
これまで以上に子どもを見取る力、幼児理解が重要になっています。
日々の保育の中に幼児理解のきっかけ、ヒントを見いだし、
保育者一人ひとりの力を高める方法について考えていきます。

幼児理解を深める 園での対話

P. 4

事例1
ロールプレイングを取り入れ
子どもの思いを肯定的に
読み取る力を高める

幼保連携型認定こども園
大徳学園 (石川県・私立)

事例2
エピソードを語り合い
「10の姿」を通して
育ちを捉える視点を育む

名古屋市立
第三幼稚園 (愛知県・公立)

インタビュー

P. 12

園全体で幼児理解を深める
園内研修のポイント

名古屋学芸大学
ヒューマンケア学部 教授
津金美智子先生

保育者が振り返る

P. 14

幼児理解が深まった
あの頃、あの場面

大徳学園 1歳児担任
池上千尋先生

名古屋市立第三幼稚園 主任
堀 智重子先生

名古屋市立第三幼稚園 園長
伊藤茂美先生